

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成28年3月6日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

別れの涙の中に 心のアルバム 最後の写真

3月、卒園・卒業式のシーズンを迎えます。以前、朝日新聞の天声人語に紹介されていた、小学校1年生の秋元健太君の短い詩です。[ようちえん にゆうえんしきで ほくがなき そつえんしきで ママがなく] わずかな文字の中に自らの成長と親の慈愛を余すところなく感じ取ることができます。そして、卒園式で父母を泣かせてきた曲が「おもいでアルバム」ではないでしょうか。[いつのことだか 思い出してごらん あんなこと こんなこと あったでしょう うれしかったこと おもしろかったこと いつになっても わすれない] 1981年2月、NHK「みんなの歌」で放送され、80年代には9割の卒園式で歌われたといえます。顔中を口にして歌い、肩震わせながら歌う子どもの姿に自身の苦労を重ね、母親や先生方の涙腺は緩むのです。卒園式や卒業式は子どもの門出であるとともに、親子の大きな節目でもあります。泣き笑いを重ねて迎える親子のひと区切り、そして新たな旅立ち、春の陽射しの中で、それぞれの心のアルバムに過ぎし日々が跡が刻まれることでしょう。

私も二人の子どもに恵まれ、保育園の卒園式でカメラのレンズをわが子に向け、シャッターを押しながら「おもいでアルバム」に涙したことを昨日のように思い出します。子どもの誕生から撮り続けた写真は、アルバムに整理できないほどになっています。しかし長男は11歳9ヶ月(小学校6年生)の時に撮った写真が、今生最後のものとなりました。平成23年4月、桜満開のスポーツ公園で「父さん、思い出に撮っておいたら」と、携帯のカメラで、枝垂れ桜の下に立って撮らせてくれた写真がそれです。その同じ4月の28日に短い人生を卒えて往きました。突然の死でした。その写真を大きく引きのばして、そばに親鸞聖人九歳の御年、出家の折に詠われたという歌を書き添え味わわせていただいています。『明日ありと思う心のあだ桜 夜半に嵐の吹くものかは』まさに「老少不定のさかい(境涯)」です。無常の風に誘われたなら、いつどこでどんな出来事に遭遇するかわからぬ身であることを痛感いたします。親鸞聖人の行実を伝える『口伝鈔』の中に「凡夫として毎事勇猛のふるまひ、みな虚仮たる事」という一章があります。そこに聖人のお言葉として、父や母、妻や子との死別にの縁にあって泣き悲しんでいる人に対して、仏法を聞いてきたものが、念仏者のほどのものが、そんなことにいつまでも恋々としているのでは、仏法を聞いてきた所詮がないではないか、と叱っている人があるが、それは先達めきたる人・師匠面した人の言うことであり、聖道の教えを学ぶつもりの人であって、浄土真宗の機・教を知らないものだと言わなくてはならない。凡夫というものは、何事につけてもつたなく愚かなものである(取意)と語られています。愛別離苦の苦悩に涙していかざるを得ないのが「つたなく愚かな」凡夫の赤裸々なる姿であり、またそのような凡夫ならばこそ、救わずにはおれないと阿弥陀如来は限りない大悲を注いでおられるのです。人生は出会いと別れの連続です。別れた事実を忘却の彼方へ捨離していくのが私たちの日々の営みかもしれませぬ。しかし会っては別れ、会っては別れていくそのすべての出来事は、このいのちの中に確かに生きているのです。念仏申す身の上には、合わず手の中、称える南無阿弥陀仏の中に別れてきたすべてのものが生きているのです。3月4月は別れと新たな出会いのシーズンです。恩愛の情断ちがたい自らを知らされると同時に、広くてにぎやかな、いのちの世界を、お念仏の中に歩ませていただいていることに気付かせていただきたいものです。

2015.11月より2016.2月まで

正善寺トピックス



2015.11 報恩講法要



2015.12 忘年会



2015.12 位牌会



除夜会・元日会
2015~2016



2016.1 小倉組ボーリング大会
団体準優勝・個人優勝



2016.2 かすみ草の会例会・香り袋づくり



ご 案 内

と き 平成 28 年 3 月 15 日 より 17 日 まで

春 季 彼 岸 法 要

	15日(火)	16日(水)	17日(木)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分	午後1時30分

講 師 (山口県下関市)

本願寺派布教使 寺 田 教 昭 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

3月12日(土)法要準備会

10:0より15:00まで

彼岸法要の準備、納骨堂の清掃等を行います。

お手伝いをお願い致します。

昼食用意しています。

「凡 夫」-ぼんぶ

聖者に対する語

真理をさとらず、煩惱に束縛されて迷いの世界を輪廻するものこと
親鸞聖人は一念多念文意に「凡夫というは無明煩惱われらが身にみちみちて、欲もおほく、
いかり、はらだち、そねみ、ねたむところおほくひまなくして、臨終の一念にいたるまで、
とどまらず、きえず、たえず」と仰っています。



小倉組団体参拝のご案内「伝灯奉告法要」

10月コース Aコース 52,000円

日 時 28年10月22日(土)~23日(日)

法要参加・京都市内観光

Bコース 82,000円

日 時 28年10月23日(日)~25日(火)

法要参加・滋賀観光・下呂温泉・高山・白川郷

どちらも80名定員です。どうぞご参加ください。

申し込みのチラシの必要な方はご連絡ください。

行事ご案内【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

4月8日は「お釈迦様の誕生日」みんなで祝いましょう

花まつり・甘茶接待

【日 時】 4月8日(金)午前11時より午後1時まで【会 場】 正善寺・神岳保育園玄関前

同日 午後 2 時より 4 時頃 小倉仏教会主催 且過丸和前にて当番開催

初参式 (しょさんしき)

正善寺本堂にて

【と き】 6 月 5 日 (日) 午前 11 時 開始

小さいお子様が お寺の仏様の前で初めてのお参りをする儀式です。最近生まれたお子様はぜひ参加しましょう。家族でおいで下さい。お待ちしております。

次回の法要のご案内 永代経法要

【と き】 6月 4日(土) 昼席 ・ 6月 5日(日) 昼席 (昼席2日間)

【講 師】 当山 正善寺 住職 酒井光義

準備会予定 6月1日(水) 10:00~15:00

編集後記

12月にいただいたさくらそうの苗が、春をむかえてたくさんの花となって今咲いています。冬をこえて春を迎えたのですね。

「あなたにも、きみにも、きみにも会えたこと、

それが生まれた喜びで、生きて行く意味」先日、お寺の研修で講師の先生が教えてくださいました。お寺、保育園、おかげさまで阿弥陀様に出迎え、そしてたくさんの方々と尊いご縁をいただいております。でもその出会いの中で、今まさに不安や悲しみの心を抱えている人がたくさんいます。寄り添いたいと思う気持ちはあふれんばかりなのに、何と声をかけたらいいいのかわからず、力ない自分にながかりながらオロオロするばかりです。小さく小さくなってその肩の上にちょこんと乗って、いつでもどこでも寄り添って、いつか『あー私一人ではなかったんだ、誰かここにいる』と一人ではないことを知って元気になってほしいと思います。南無阿弥陀仏のお名号を称え、いつの時も阿弥陀様がそばにいてくださることを、守っていただくこと、共に悲しみ苦しんでくださることを知って、笑顔になってほしいと思います。

「一人だけどひとりじゃない、心の中は一人じゃない、今日も生きるすべての人に、幸せと思える時間がありますように」大それたことではありますが、「ねえ聞いて」と心の中で会ってもらえる坊守になれることが出来たらいいなと、つくづく思う日々であります。

春のお彼岸、どうぞお寺にお参りください。心よりお待ち致しております。季節の変わり目です。くれぐれもお体大切にお過ごしくださいませ。 合 掌